

キリストの架け橋

発行責任者：宝田 豊 yutakara@gmail.com

対外伝道ニュースレター

2016年7-9月 Vol.13

～笑顔の証し～

今治城を訪問し、城の中を見学するのに、自分の靴は下駄箱に入れて、城内を覗いてきたのですが、戻ると、わたしの靴がなくなっていました。どうも別のお客さんが間違えて履いて帰られたらしいのです。城の事務関係者の方々が、直ぐに敷地内に残っておられた全てのお客さんに尋ねて下さったのですが、既に、おられませんでした。そこで、事務所にこうした時の為に用意してあった新品のシューズを出してこられたのですが、サイズが小さすぎて入らず、結局、城内用の下履きを履いて、帰ることになってしまいました。

事務所の方々は、申し訳なさそうにしておられたのですが、当の本人は笑いながら冗談を言ったりして、全く怒る気配がなかったので、一人の方が仕事は何をされているのですかと尋ねてきました。そこで、牧師であることを伝え、納得したような様子で、他のお客さんなら、それは激怒して大変なことになるところでした、と話してくれたのです。

何が証しのきっかけになるか、本当に分からないものです。どんな時にも、信仰の証しが出来る準備をしていることは、大切なことですね。

あなたがたのうちにある望みについて説明を求める人には、いつでも弁明のできる用意をしておきなさい。ペテロ第一の手紙 3章15節後半

ダラスからの訪問者



7月、ダラスの教会から、わたしの妻を含め6名の方が、徳山を訪問して下さり、心温まる礼拝を守ることが出来ました。当日の礼拝出席は、10名でした。

こうした訪問者は、徳山の教会員にとっては、大きな慰め、また、励みになります。訪問者の存在を通して、自分た

ちの小さな群れがどんなに小さくても、こうした人々の存在を通して、たくさんの人に祈り支えられていることを実感し、もっと頑張ろうという思いになるのです。

礼拝後、ダラスから来られた方々と一緒に萩市の松陰神社や、防府にある天満宮などの観光に行き、楽しい時間を過ごさせて頂きました。



講壇交換

8月には、中四国連合北ブロックの講壇交換があり、わたしは、広島県の呉キリスト教会で礼拝メッセージのご奉仕をさせて頂き、徳山では、呉教会の浅海牧師がご奉仕を担って下さいました。

呉教会へは、今回がはじめてでしたが、商店街の中に立つ会堂として際立って見えました。会堂内も、聞くことによりますと、毎週の礼拝出席は、5~6名とのことでした。経済的にもご苦勞されているとのことでした。これだ



教会に居ることが大きな喜び、と言えるような群れをみんなで築いて行こうと歩みを始めています。

当教会で共に喜びある礼拝を守ってみませんか。どなたも心から歓迎いたします。

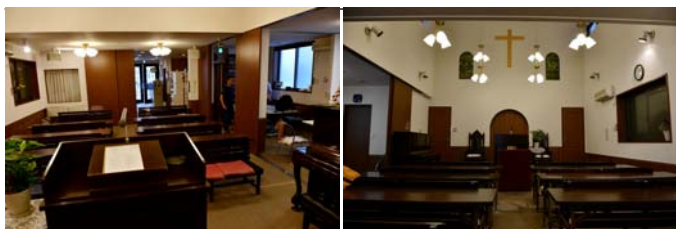
徳山バプテスト教会 〒745-0881
山口県周南市大字徳山東辻 5685-12
<http://tokuyama-ch.com>

祈りのリクエスト

- + 徳山バプテスト教会の祝福
- + 教会の必要経費の備え
- + 教会員の霊的成長
- + 新来者が与えられるように
- + 救われる魂が与えられるよう
- + 地域の人々が教会を訪れるよう
- + 被災地伝道の祝福
- + 活動経費が備えられるよう
- + わたしの健康が支えられるように
- + テキサス州内伝道の祝福
【ダラス、アビリーン、コーパスコープ、サンアントニオ、ヒューストン】
- + 御国バイブルフェロシップ（ヒューストン）と上原牧師の祝福

主な行事予定(10-12月)

- 10月23日 今治教会との合同礼拝
- 10月24日 今治教会との協議会
- 10月30日 横浜大和町キリスト教会での宣教
- 11月13日 松本蟻ヶ崎キリスト教会での宣教
- 11月16-18日 第62回バプテスト連盟定期総会
- 11月27日 筑波バプテスト教会での宣教
- 12月24日 クリスマス・イブ礼拝
- 12月25日 クリスマス礼拝



けの人数で教会を維持することは、大変なことと思います。自分たちの教会は、小さいからと、内向きになっては教会は健全な成長を望むことが出来ません。他の教会のことを心に留め、また、苦悩している教会の為に祈る心の余裕があってこそ、教会は元気になっていくものではないでしょうか。

梨狩り



8月、ダラスへ戻る前日、教会員の一人が求道者の青年と、時期が終わらない内にと、わたしを梨狩りに連れて行ってくださいました。そこは、町から1時間ほど運転したところにある梨

農園で、近くには、他にもたくさんの農園が連なっていました。

農園への行き帰りの車の中で、彼と、いろいろな話が出来ました。また、帰りには、途中の川岸で一休みし、自然の中でしばしの時を過ごし、神の創造の出来事に触れることができ、感謝でした。



日曜日に来られた時だけでなく、このような時間を共有する中で、更に人と人としての関係を構築していくことができるのだ、と思いました。

Pattersonご夫妻訪問

9月、ダラスよりPattersonご夫妻が徳山を訪れて下さり、2回の礼拝の中で、証しとメッセージをして頂きました。アメリカ人による英語のメッセージということで、福岡の久留米から以前出席していたケニヤからの姉妹も出席して下さいました。



対外宣教に就いた時、州連盟の一つの部署が、3年を期限に支援を約束して下さいました。本当に感謝でした。ただ、その期限も終わり、今は、皆さまからのご支援だけで、対外宣教を継続していくことになりました。それでも、主は、これからもすべての必要を満たして下さいと信じ、前進していく所存です。これまで同様、皆さまのご支援を宜しく願いいたします。

支援金は、下記住所までご送金をお願いいたします。

Japanese Baptist Church of North Texas
For Takarada Fund
6040 Alpha Rd. Dallas, Texas 75240

彼らは、一週間の滞在で、信仰に生きる者としての良き証しをして下さいました。彼らの信仰の姿勢から学ぶことが多くあったと、後になって、教会員がわたしに話してくれました。

ご主人は、わたしと公民館やジムにも行き、そこで知り合った人たちとも触れ合う時間を持ってくださいました。

広島教会の祈禱会に出席し、そこから、四国の今治にある母教会でのチャペルコンサートに向かいました。



徳山に戻った晩は、ノンクリスチャンのご主人を持つ方の家に二晩宿泊して頂き、ご主人を日曜日の礼拝に招いて頂くようお願いしました。そして、その日曜日、この家のご主人が、Pattersonご夫妻と約束したと、礼拝に出席して下さいました。感謝！

チャペルコンサート

母教会でのチャペルコンサートには、山中臨在氏が特別講師として招かれていました。テキサスで共に育った仲間が、これまで多く日本に戻って行かれました。



こうした仲間が、今、それぞれの地で活躍している姿に触れることは、嬉しいことです。

山中先生は、俳優をされていたこともあり、与えられている賜物を豊かに生かした独特の方法で、会衆を魅了していました。しかし、その中でも、ご自身の証しを交えて、しっかりと福音を伝えるという、彼らしい宣教スタイルを大切にされていました。



昨年10月に脳梗塞を患ってから早8か月が経ち、医師から血液検査をしましょう、と言われ、7月に血液検査を受けました。

結果は、何も異常なしとのことでした。コレステロール値も問題なく、糖尿などの心配もないと報告を受けました。

クスリを服用することは当然ですが、ジムに通い、体を鍛えていることが、血圧の低下に大きな役割をしているようです。なので、これからも人との触れ合いを含め、健康維持の為に頑張るジムに通おうと考えています。



経費内訳 2016年 7月～9月 (¥130/\$)

2016年6月までの収支	-39,196.95
入金 (7-9月)	
支援金総額	6,646.15
経費 (7-9月)	
国際線+日本の国内線	5,391.20
日本の経費合計 (治療費含む)	3,336.33
徳山バプテスト教会支援金	692.31
経費合計 (7-9月)	9,419.84
収支合計 (7-9月)	-2,773.68
次期への繰越金	-41,970.64